

区民と区長のタウンミーティング概要

日 時	令和3年9月1日(水) 18時30分から20時
会 場	東部区民活動センター
テ ー マ	新型コロナウイルス感染症と地域活動について
出席者 区 民	計 12 人
区 側	区長、区民活動推進担当課長、地域活動推進課長、南部すこやか福祉センター所長、中部すこやか福祉センター アウトリーチ推進担当課長
一 時 保 育	無
手 話 通 訳	無

区長あいさつ	
区民の意見・質問	区長の回答等
<p>新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、町会・自治会の活動や地域の各種イベントなどが中止・延期となり、なかなか再開できない状況が続いている。</p> <p>感染防止の対応が求められるなか、生活様式の変化や活動の自粛により、外出せずに家にひきこもることによる身体機能の低下や孤立など、新型コロナウイルス感染症の感染以外にも心配な状況となっている。そのため、中野区では、感染対策を徹底しながら、地域のさまざまな活動を継続・再開して頂けるよう支援を進めてきている。</p> <p>本日は新型コロナウイルス感染症と地域活動について皆さんから意見等を伺いたいと思う。</p>	
<p>東部地区では、新型コロナウイルス感染症の感染が拡大するなかであっても、地域の見守り活動を続けてきた。新型コロナウイルスの影響により孤立している状態になっている方がいる。このような状況の中で、町会として何が出来るかを話し合っている。区としても、応援してほしい。</p>	<p>地域の見守り活動を継続してくださっていることには、感謝申し上げたい。新型コロナウイルスの影響により孤立している方が増え、地域活動をしてきた方が活動が制限されるなかで、体調を崩されたりしているという話も伺っており、感染症の影響による課題と捉えている。区として、特に高齢者の身体機能低下を防ぐ取組やさまざまな活動の継続や再開の支援を行っている。</p> <p>すこやか福祉センターで相談ができる窓口を設けているので、活用してほしい。</p>
<p>町会・自治会のイベントやサロンなど活動は中止している状態だが、見守り対象者名簿を活用し、訪問活動を続けている。インターホン越しで会話し、訪問した際に困っている方や体が弱っている方がいる場合については、アウトリーチチームに伝えてもう一度訪問する等してもらっている。</p>	<p>地域のさまざまな活動が止まってしまうことで、特に高齢者はひきこもって孤立することで、身体状況なども変わる。地域でさまざま工夫をして訪問活動などを継続して頂いていることに感謝する。</p>
<p>ミニリーダーや子ども会活動等の子どもを対象とした事業できない状況が続いている。どのようにしたら保護者の方や学校などの理解が得られるか、実施してしまっても良いか判断が難しい。</p>	<p>感染リスクがどれくらいか判断するのは難しい。学校は給食を続けている。学童クラブを開いており、8割近く子どもたちが来ていたが、学童クラブにおいて感染が広がったという報告は受けていない。感染症対策を徹底して実施するとともに、事業実施後の感染症対策についても、気をつけてもらう旨を子どもたちに伝えていくことが大切だと思っている。</p>
<p>東部地区まつりについては、規模を半減してでもやってみようと思っている。賑わいがなく寂しい等の声があったとしても、一歩前進する形で開催したい。</p> <p>区の助成を活用して検温機器を購入したが、地区まつりには大勢の人がくるので、検温機器が2台以上必要である。区から提供してもらうことはできないのか。</p>	<p>地区まつりを含め地域のイベントについては、感染対策を講じた上で、積極的に取り組んでほしい。</p> <p>検温機器等について、至急、対応を検討したい。</p>
<p>8月に東部地区の14町会主催のフードパントリーを社会福祉協議会と共に初めて実施した。町会だけでなく、民生児童委員や青少年育成団体も一緒に取組んだ。お金だけではなく食材、マスク、雑貨など220人以上の方が持ってきてくださった。今後も「地域はあなたのことを見捨てていないよ」というメッセージを発したいと思っている。</p>	<p>フードパントリーを町会が主催したのは区内で初めてだった。地域の強みを活かした活動だと思っている。区としても、社会福祉協議会と一緒に、やれる支援はやっていきたい。</p>

区民の意見・質問	区長の回答等
<p>中野区はワクチン接種が早かったが、現在は医療機関でもワクチン接種が難しい。64歳以下の方のワクチン接種の予定はどうなっているのか。例えば10月以降で7割～8割等、区の方の予測はあるのか。</p>	<p>国から供給されるワクチンの数が減らされている状況である。色々なルートを使って追加のワクチンをはたらきかけた結果、23区内に追加配布がされることになった。11月末までに希望者は全員打てる予定で計画をたてている。このほか、国にモデルナの追加配布をお願いしている。</p>
<p>令和3年度も見守り対象者名簿が更新されるかと思うが、見守り対象者名簿はいつ更新される予定か。</p>	<p>今年度更新した名簿については、9月中旬に町会・自治会や防災会に、10月中旬に民生児童委員に提供する。</p>
<p>宮桃町会では見守り支えあいでの訪問活動と支えあいプロジェクトのメンバーを中心としたみやもカフェを桃園区民活動センターで開催していたが、様々なところから人がくるため、現在では中止している。見守り名簿をもとに、ボランティアの方も含め、6チームで訪問活動を行っている。だいたい毎月2度、日時を決めて約120名、100世帯訪問している。このことで、月に一度は対象者の方を訪問している。行事やイベントができない分、訪問活動をすることでなんとか繋がりをもつようになっている。見守りをする側もまちを歩いて、人と会って、元気をもらっている。</p>	<p>地域でさまざまな工夫をして見守り活動を継続してくださっていることには感謝申し上げます。高齢者会館も一度は閉館したが、開館してほしいとの要望もあり、感染のリスクより身体機能の低下のリスクのほうが高いということで、その後は開館している。感染のリスクよりも、地域でのさまざまな活動が止まり、人との繋がりがなくなることによる孤立や身体機能の低下の方がこわいとの声もあった。しっかりと感染対策をしていくことが大事である。事例集などを参考にして活動の再開に向けて少しずつ取り組んで頂きたい。</p>
<p>民生委員として、訪問活動を行っているが、訪問の際に電話番号を記入したものを投函して折り返しの電話を頂く、という形式で行っている。これまで、特にマンションにおいてはインターホンでお話しをすると個人情報等がまる聞こえになってしまうことが気になっていたが、電話を頂く方法にしたことで解消された。また、高齢者の方のご都合のいい時間にお電話をくださることにより深い内容も聞くことができている。感染防止策として、電話による方法に切り替えたが、かえって良かったのではないかと考えている。</p>	<p>電話を活用した方法の良さもわかる。訪問して会って頂くことによりわかることもあると思う。新型コロナウイルスの影響で方法等を変えたことで、別のやり方の良さが見えた例として、ぜひ、共有してほしい。区としても一緒に学んでいきたいと考えている。</p>
<p>民生委員として活動をしているが、急に電話があり、今来てほしい、という方も多く、緊急を要する方もいる。障害をもった方、一人暮らしの男性等、高齢者ではない方でも、新型コロナウイルスの影響で弱ってきてしまっている人たちがいる。そのため、感染がこわい、と言いながらも、こうした方への対応をしないわけにはいかないと感じる。民生委員だけで行うのではなく、区の生活援護課や社会福祉協議会等とより連携をしていく必要を感じた。困った人がいたときにすぐに動けるような地域にしていきたい。</p>	<p>新型コロナウイルス感染症の感染リスクがあるからといって地域で困っている方への対応をしないわけにはいかないことについては、まさにおっしゃる通りだと感じている。新型コロナウイルス感染症の影響があるときだからこそ、何か変化がある、おかしいなど気づいたときにすぐに動けるようなネットワークが大切だと思っている。今まで区として十分対応しきれていなかったひきこもりの若者や中高年の方に対しても取り組んでいくため、新しい取組を立ち上げているところである。困った人が困ったときに人がつながれる中野区を目指したい。民生委員の皆様ぜひ今後ともご協力を頂きたい。</p>

区民の意見・質問	区長の回答等
<p>区内で防災に関して、町会にある消火器の地図を作り、子どもたちに地図を見ながらどこに消火器があるかを確認してもらいながら、防災倉庫の中をみたり、実際に体験したり等するイベントの企画をした。しかし、新型コロナウイルスの影響で今は延期している状態で、昨年度から実施出来ていない。感染状況をみながら、ぜひ、やりたいとは思っている。子どもたちに町会を知ってもらいたい機会にもなると考えている。子どもたちを対象とした事業ができていない状況が続いているが、なんとか実現したい。</p>	<p>南部すこやか福祉センター管内で久々に防災訓練があった。動線を分けてどう避難所に行くか、避難所でパーテーションをどう組み立てる等の訓練を行った。パーテーションの組み立ては、あまりにも難しかったため、防災課の職員と一緒に組み立てのマニュアルを作成して訓練を行った。訓練をやってみなければわからないことがわかったので、実施した意義は大きかったと感じている。防災については、ご提案のように子どもたちへの仕掛けができれば一石二鳥であると考えている。防災担当にも話をしたい。</p> <p>秋の防災訓練は今のところ実施する予定(9月1日時点)で、感染対策を工夫しながら実施するための検討している。子どもたちの参加についてもぜひ考えていきたいと思う。</p>
<p>見守り名簿をもとに訪問活動をしている。障害をもっている方や障害をもつお子さんについても名簿にあるが、どのように声かけや、関わりをしてよいかわからないのが課題であると感じている。</p>	<p>障害をもっている方や障害をもつお子さんは、見守りを希望する方が見守り名簿に載っている。見守り名簿は、①異変発見・通報、②安否確認に関する活動活動、③ご近所での日常生活支援活動、④その他支えあい活動に活用していただくものである。訪問活動のみならず、さまざまな機会をとらえて構築関係づくりをして頂くことを期待している。</p>
<p>見守り名簿をもとに訪問活動をしているが、「どうしてうちには来ないのか」というお問い合わせを頂くことがあるが、名簿に載るか載らないかの基準がわからない。お知らせも来ていないということなので、ご希望があった場合についてはリストに追加して訪問を行っている。先日は区が作成したなかの元気アップの資料「チャレンジ1」を持参したところ、好評だった。</p>	<p>高齢者の方については、70歳以上の単身の世帯、75歳以上の者のみで構成されている世帯を名簿対象者しているが、町会・自治会、防災会への提供については、本人が希望しない場合、登載していない。名簿登載については、災害時個別避難計画書郵送調査の際、登載希望の確認を行っている。ご本人の希望があれば、名簿に登載することはできる。</p>